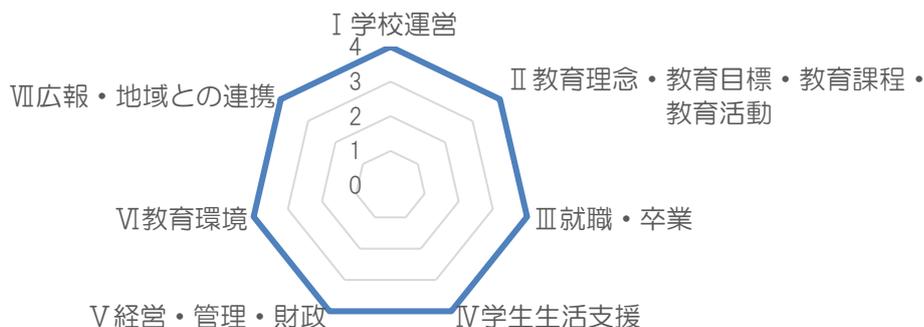


目的

学校経営・管理及び教育活動、研究活動等に対する自己点検・自己評価を継続的・循環的に行い、改善点を見出し、教育活動の質向上を目指すとともに、地域のニーズに応える魅力ある学校となるよう努める。本校では、定期的に教育活動および学校運営の評価を行う。

自己点検・自己評価（7領域31項目）の結果

評価基準 できている 4 1 改善すべきである



カテゴリー	評価点	概要
I 学校運営	4.0	組織目標を策定し、年2回の評価を行いながら全職員で目標達成に向けて活動している。課題等に関しては随時検討し、問題解決に取り組んでいる。学校だけでなく、岡山県済生会の施設間・職員間で連携しチーム力を発揮した取り組みを行っている。
II 教育理念・目標・教育課程・教育活動	4.0	教育活動の評価を行い、その結果を次年度の目標や計画に反映している。今年度は社会人基礎力の評価項目の内容やフィードバックの方法の見直しを行い、新たな方法で取り組んだ。また、新カリキュラムでの領域別実習の充実のため、各領域で目標や実習内容の調整・共有を中心に行った。
III 卒業・就職	4.0	実習環境の充実や担当教員が必要時面接や学習支援をする体制は、卒業生からの評価が高く、看護実践能力の向上や看護師国家試験の合格につながっている。生涯学習、就職のためのセミナーを各学年段階的に計画・実践している。採用試験に関しては学生が納得するまで面接・論文等指導も行っている。
IV 学生生活支援	4.0	教員が少数の学生を担当し、学生個々に合わせた支援を継続している。精神的側面からの支援のニーズが高くなっており個々に合わせた対応を行っている。
V 経営・管理・財政	4.0	年間計画に基づき計画的に予算・事業執行を行っている。学生の意見や要望を反映し、可能な範囲で改善や説明を行い、学生が理解し満足できるよう努めている。
VI 教育環境	4.0	インターネットをはじめ教材・設備は整っている。また、校内は自主的な学習ができる環境になっている。学生の主体的な活動の支援が課題である。
VII 広報・地域との連携	4.0	学生募集対策チームで検討し本校の強みをアピールする広報活動した。さらにホームページは令和5年度末にリニューアルする。高校生の受講（本校での単位習得）、学生消防団の広報の協力、看護教員のインターンシップ制度など新たに始めた。地域と学生のニーズを考慮し、今後も活動を広げていきたい。